

2015

Mini Disclosure

ミニディスクロージャー誌

平成27年3月期・営業のご報告



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuoku Financial Group, Inc.



取締役社長 庵 栄伸
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長 笹原 晶博
(北海道銀行 頭取)

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌(平成27年3月期・営業のご報告)」をお届けいたします。本誌では、平成26年度の業績ならびに各種取り組みなどをご紹介しておりますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

足元の国内経済はアベノミクスのもと各種政策の効果が徐々に浸透し、地域経済も緩やかに回復しつつあります。当社グループの主要営業地域である北陸地域では「北陸新幹線」が開業し、このビジネスチャンスをつ捉えて観光や製造業などさまざまな産業で企業活動が活発化してきております。北海道においても「北海道新幹線」の開業まで1年を切り、地域経済への波及効果の期待が高まってきています。当社グループでは地元企業への資金面の支援に留まらず、広域ネットワークを活かしたビジネスマッチングや首都圏での地域産品のプロモーションなど、地元企業の営業拡大に向けた活動の支援に積極的に取り組んでおります。

当社グループは、平成16年9月に北陸銀行・北海道銀行が経営統合して誕生し、平成26年度で10周年を迎えることができました。これもひとえにお取引先の皆さまや株主の皆さまの暖かいご支援ご厚情の賜物と深く感謝申し上げます。今後も「広域地域金融グループ」のビジネスモデルに磨きをかけ、地域の皆さまに充実した金融サービスを提供するとともに、グループ経営のメリットを追求してまいります。

平成27年度は中期経営計画「GO for IT!」の最終年度となります。計画に掲げた「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」を目指し、地域経済の活性化に全力で取り組むなかで企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年6月

目次

ごあいさつ	01
中期経営計画	02
業績ハイライト	03
グループの概要	07
ネットワーク	08
地域とともに	09
預金・貸出金計数 トピックス (北陸銀行/北海道銀行) お取引先の成長を支援する取り組み 地域活性化に関する取り組み CSR	
財務諸表	17
ほくほくFG単体 ほくほくFG連結 北陸銀行単体 北海道銀行単体	
株式のご案内	21
経営理念等	22

“GO for IT!”

■ 計画の概要

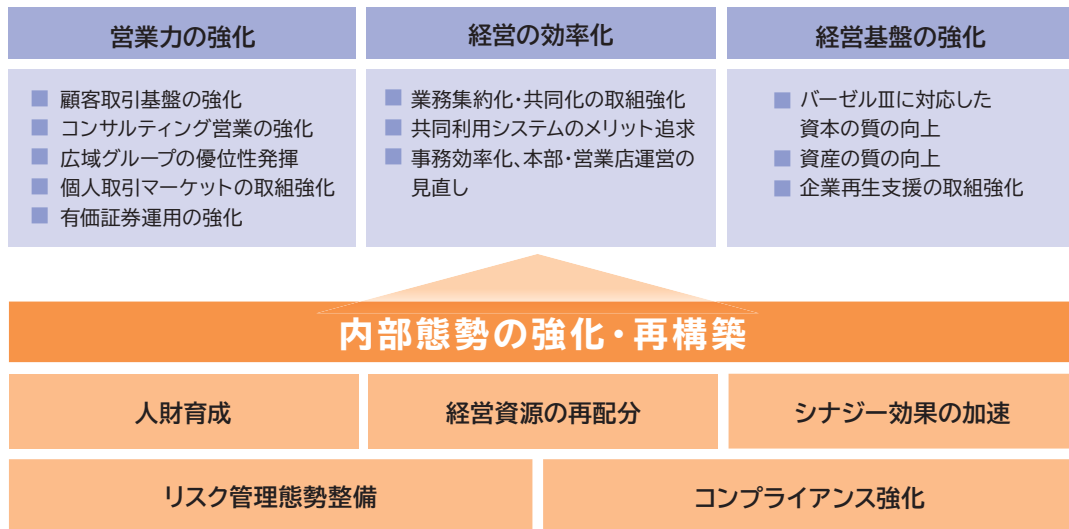
名称	中期経営計画 “GO for IT!”
期間	3年間(平成25年4月～28年3月)
位置付け	持続的な成長に向けた事業戦略の最適化に取り組む期間
目指すグループ像	地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築する。 2. 「営業力の強化」「経営の効率化」の施策をさらに推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組む。 3. 地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高める。

■ 平成28年3月期目標とする計数(2行合算・連結)

	平成28年3月期(目標)	平成27年3月期(実績)
総預金平残	10兆1,100億円	10兆4,336億円
貸出金平残	7兆4,800億円	7兆4,520億円
コア業務純益	470億円	512億円
連結当期純利益	185億円	282億円
連結自己資本比率	10%以上	11.13%
OHR (コア業務粗利益ベース)	67%	64.64%
不良債権比率	2%台	2.43%

■ 計画の基本方針

施策の展開



営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

(単位:億円)

	27年3月期		26年3月期
		前期比	
経常収益	1,939	29	1,909
経常利益	481	△ 13	494
当期純利益	282	9	273
自己資本比率	11.13%	△ 1.18%	12.31%

■ 北陸銀行・北海道銀行

(単位:億円)

	2行合算		
	27年3月期	前期比	26年3月期
経常収益	1,794	14	1,780
コア業務粗利益	1,448	25	1,422
経費(臨時処理分を除く)	936	△ 4	940
コア業務純益	512	29	482
与信費用	60	74	△ 13
経常利益	471	△ 14	485
当期純利益	282	7	275

	北陸銀行		
	27年3月期	前期比	26年3月期
経常収益	940	△ 37	977
コア業務粗利益	765	△ 5	770
経費(臨時処理分を除く)	504	△ 1	505
コア業務純益	260	△ 4	264
与信費用	17	60	△ 42
経常利益	245	△ 59	304
当期純利益	146	△ 31	178
自己資本比率	10.61%	△ 1.79%	12.40%

連結会計年度の当期純利益は前期比9億円増加の282億円となりました。

連結自己資本比率は11.13%となりました。

27年3月期の期末配当につきましては、第1回第5種優先株式は所定の配当とし、1株当たり7円50銭、普通株式配当につきましては、中間配当を見送りとさせていただきますが、期末配当は昨年より1株当たり25銭増配の4円25銭とさせていただきます。

● コア業務粗利益・・・1,448億円

資金利益および役員取引等利益が増加したことから、前期比25億円増加しました。

● 経費・・・936億円

人件費、物件費とともに減少したことから前期比4億円減少しました。

● コア業務純益・・・512億円

● 経常利益・・・471億円

国債等債券損益が増加しましたが、与信費用の増加により、前期比14億円減少しました。

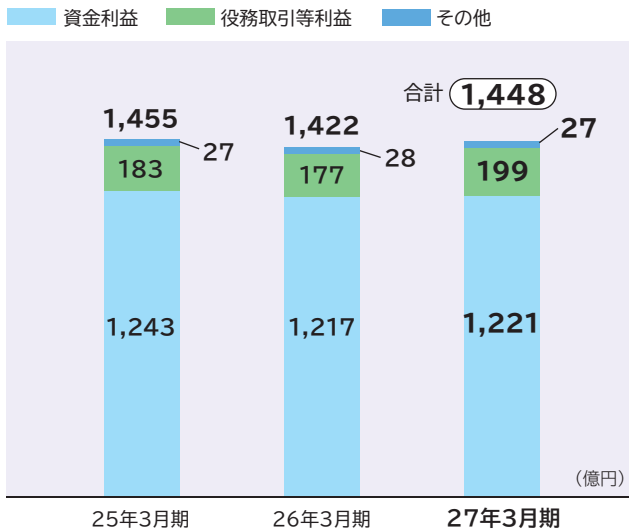
● 当期純利益・・・282億円

法人税等の減少により、前期比7億円増加しました。

	北海道銀行		
	27年3月期	前期比	26年3月期
経常収益	854	52	802
コア業務粗利益	683	30	652
経費(臨時処理分を除く)	431	△ 3	434
コア業務純益	251	33	217
与信費用	42	14	28
経常利益	226	45	180
当期純利益	135	38	96
自己資本比率	10.75%	△ 0.01%	10.76%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>



● 資金利益・・・1,221億円

貸出金利息は減少しましたが、有価証券利息配当金が増加したため前期比4億円増加しました。

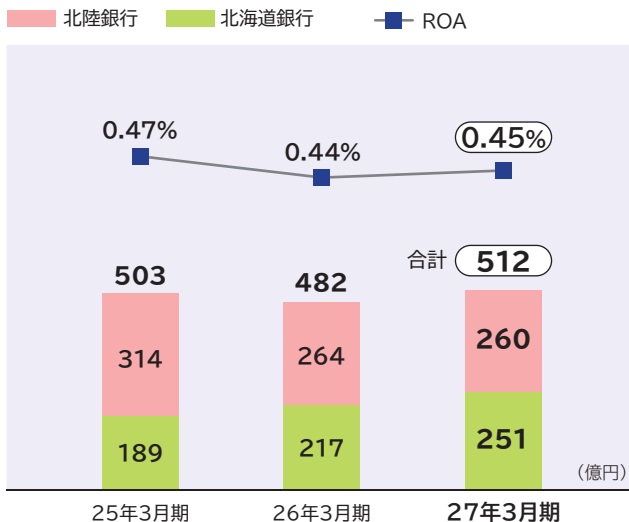
● 役員取引等利益・・・199億円

投資信託および保険販売手数料が増加したため前期比21億円増加しました。

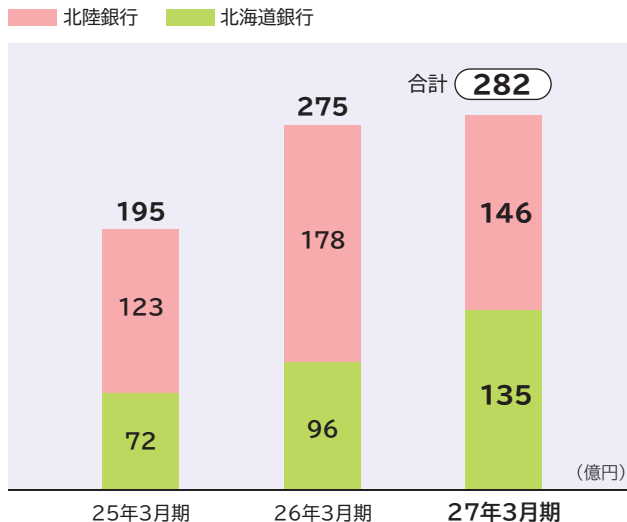
● その他・・・27億円

金融派生商品収益は増加しましたが、外国為替売買損益が減少したため前期比同水準となりました。

■ コア業務純益<2行合算>



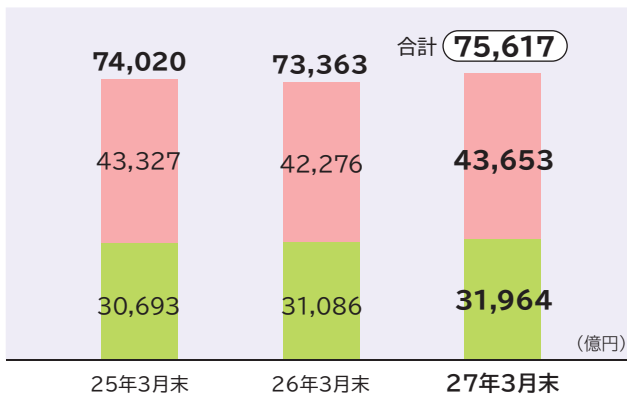
■ 当期純利益<2行合算>



預金・貸出金の状況

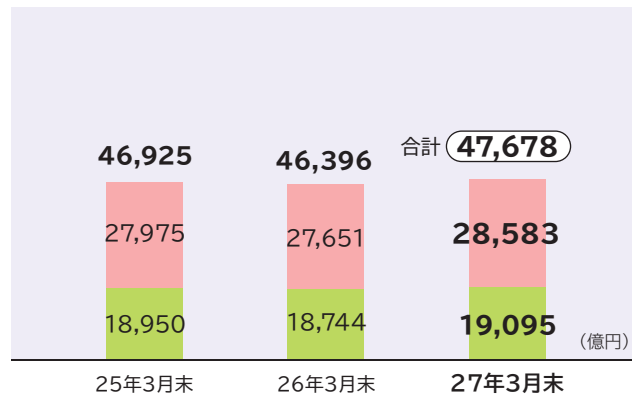
■ 貸出金<2行合算>

北陸銀行 北海道銀行



■ 中小企業等貸出残高<2行合算>

北陸銀行 北海道銀行



● 貸出金・・・7兆5,617億円

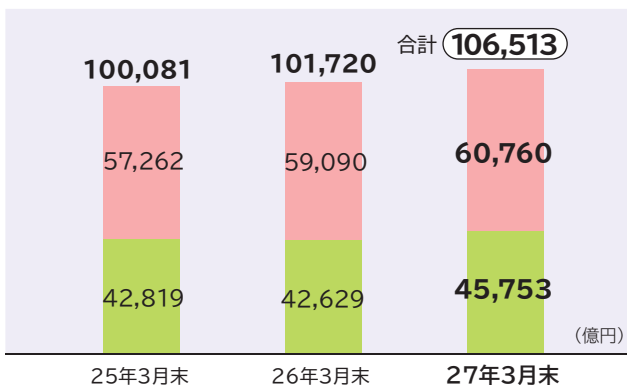
事業性貸出や個人ローン、地方公共団体等向け貸出のすべてのセグメントで増加したため前期末比2,254億円増加しました。

● 中小企業等貸出残高・・・4兆7,678億円

地域金融の担い手として積極的に取り組んできた結果、前期末比1,282億円増加しました。

■ 預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

北陸銀行 北海道銀行



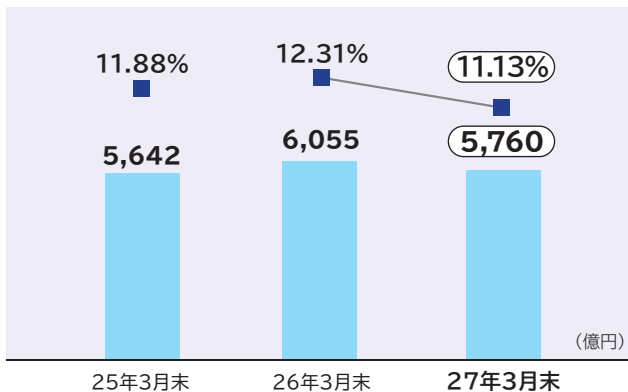
● 預金(含む譲渡性預金)・・・10兆6,513億円

個人預金、法人預金が順調に増加したことに加え、譲渡性預金が増加したため、前期末比4,793億円増加しました。

健全性の指標

■ 自己資本比率<FG連結>

■ 自己資本 ■ 自己資本比率

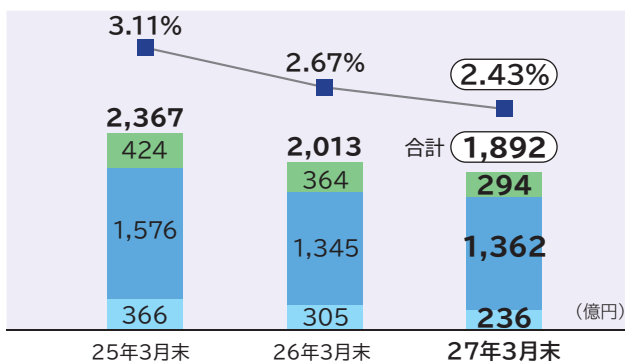


● 自己資本比率・・・11.13%

利益の積み上げを図った一方、劣後ローン等の返済により、前期末比1.18ポイント低下しました。

※25年3月末はパーゼルⅡベース、26年3月末以降はパーゼルⅢベースで算出しています。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>

■ 要管理債権 ■ 危険債権
■ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■ 開示債権比率

● 金融再生法開示債権・・・1,892億円

前期末比121億円減少しました。

● 開示債権比率・・・2.43%

前期末比0.24ポイント低下しました。

■ 格付

格付投資情報センター

R&I



「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」、北海道銀行はJCRより「A」の格付も取得しています。

銀行持株会社



**Hokuhoku
Financial
Group, Inc.**

■ 資本金 708億9,500万円

■ 発行済株式 普通株式 1,351,630,146株
第1回第5種優先株式 107,432,000株

■ 取締役・監査役の役職および氏名 (平成27年6月26日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵 栄伸	取締役	小倉 隆巳
取締役副社長	笹原 晶博	取締役	大島 雄次
取締役	麦野 英順	取締役	中川 了滋
取締役	山川 広行	常勤監査役	稲葉 純一
取締役	中野 隆	監査役	前泉 洋三
取締役	森田 勉	監査役	川田 達男

■ 従業員の数 専任者13名、兼務者60名、計73名

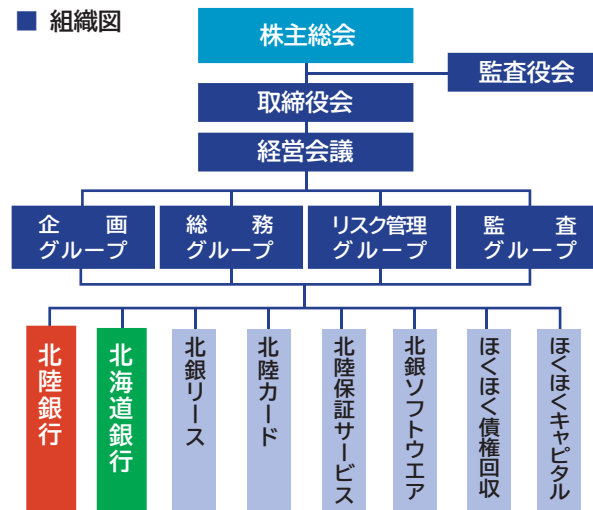
■ 設立日 平成15年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

取締役会	グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。
監査役会	監査の方針、監査役の職務の執行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行を監査します。
経営会議	当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、一般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

名称 株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
本店所在地 富山市堤町通り1丁目2番26号
業務の内容 1. 傘下子会社の経営管理
2. 上記経営管理業務に付帯または関連する業務

■ 組織図



■ グループ各社の内容

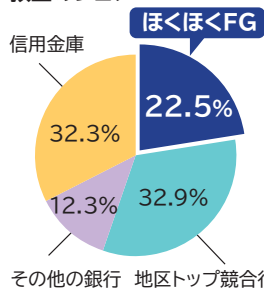
(株) 北陸銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
(株) 北海道銀行	
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株) 北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。
北銀ソフトウェア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイ業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

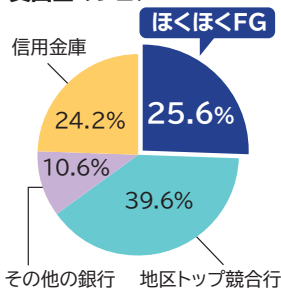
ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。

北海道内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア

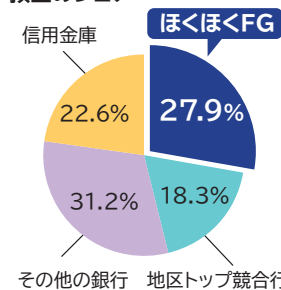


貸出金のシェア

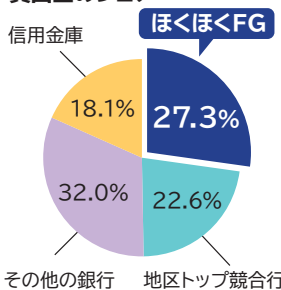


北陸3県内 預金・貸出金のシェア

預金のシェア



貸出金のシェア



グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

- ① ニューヨーク駐在員事務所
- ② ロンドン駐在員事務所
- ③ バンコク駐在員事務所
- ④ シンガポール駐在員事務所
- ⑤ 上海駐在員事務所
- ⑥ 大連駐在員事務所
- ⑦ 瀋陽駐在員事務所
- ⑧ ウラジオストク駐在員事務所
- ⑨ ユジノサハリンスク駐在員事務所

北海道 159カ店

北陸3県 149カ店

富山県 91カ店
石川県 36カ店
福井県 22カ店

その他 4カ店

仙台・新潟・長野・高山

3大都市圏 16カ店

東京・横浜 9カ店
名古屋 3カ店
大阪・京都 4カ店

※シェアは、平成26年9月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などより当社にて作成。

※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

海外駐在員事務所 9 拠点

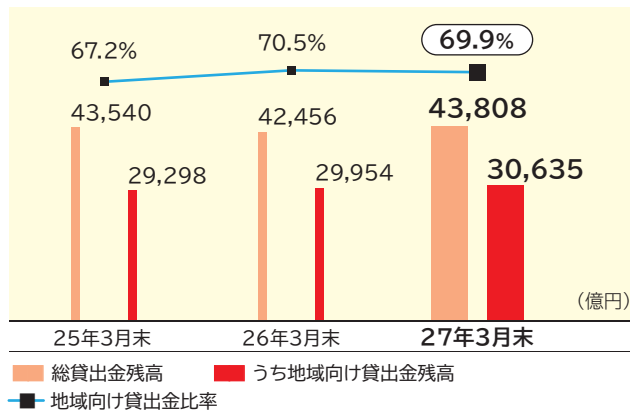
北陸銀行 6 北海道銀行 3



貸出金の状況

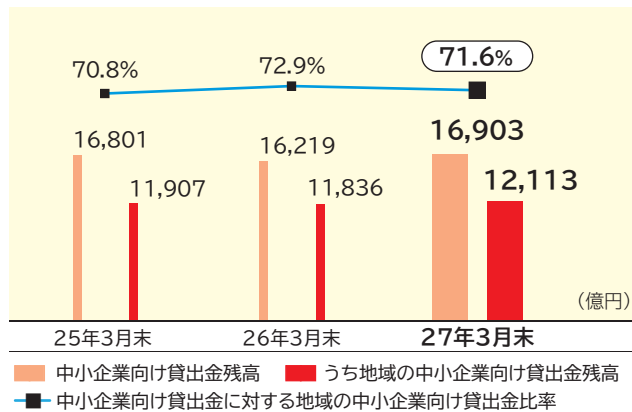
■ 地域向け貸出金の状況

地域向け貸出金は、3兆635億円と総貸出金の69.9%を占めています。



■ 中小企業向け貸出金の状況

地域の中小企業向け貸出金は、1兆2,113億円と中小企業向け貸出金の71.6%を占めています。



■ 中小企業向け貸出先数の状況

(先)

	25年3月末	26年3月末	27年3月末
中小企業向け貸出先数 ㊸	34,487	33,162	32,617
うち地域向け ㊹	29,572	28,377	27,724
比率 (㊹/㊸)	85.7%	85.5%	84.9%

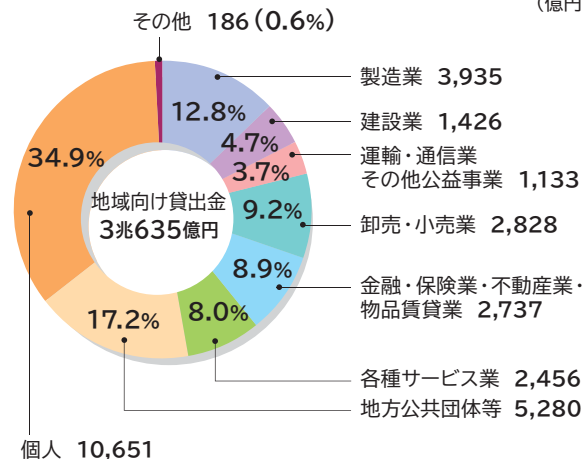
■ 決済サービスのご利用状況

(千先)

	25年3月末	26年3月末	27年3月末
年金振込先数	293	293	297
給与振込先数	480	484	487
公共料金振替先数	1,121	1,112	1,100

■ 地域の業種別貸出残高 (平成27年3月末)

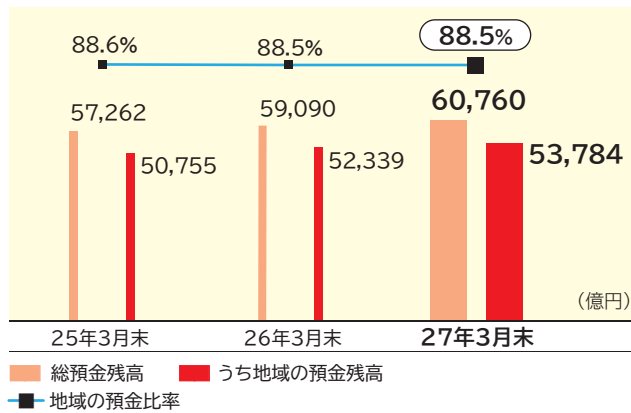
(億円)



預金の状況

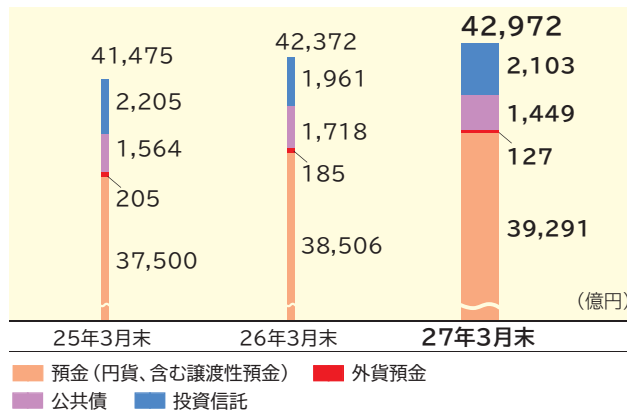
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

地域の預金は、5兆3,784億円と総預金の88.5%を占めています。



■ 個人預かり資産の状況

個人預かり資産残高は、4兆2,972億円となりました。このうち預金(円貨、含む譲渡性預金)を除いた投資型金融商品残高は、3,680億円となりました。



TOPICS トピックス

親しみやすく、使いやすいホームページへ

27年2月にホームページを全面リニューアルしました。アイコンやタブ等を積極的に活用し、わかりやすいデザインへ一新しました。公式FacebookページやWebサイトキャラクター“ほくまる”、“りくひめ”による解説などお客さまの利便性向上と情報発信力の強化を図りました。



東富山出張所および越前町支店・西田地方出張所が新築オープン

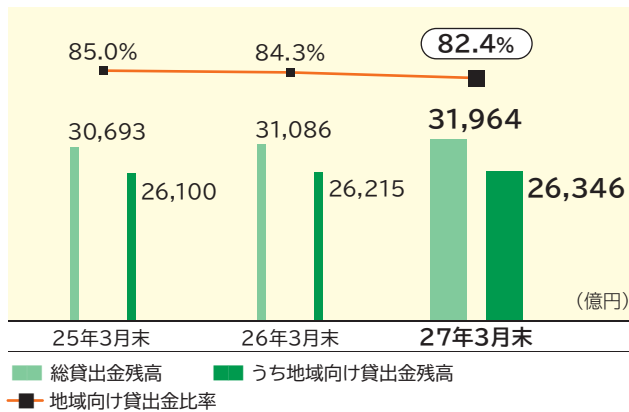
26年11月に東富山出張所、27年4月に越前町支店・西田地方出張所が新築オープンしました。東富山出張所は富山県の基幹産業であるアルミを多用した先進的なデザインにしました。越前町支店・西田地方出張所は新築の「一番町スクエアビル」へ移転しました。LED照明や高効率の空調機器の設置など環境に配慮するとともに、バリアフリー化対応をするなど心地よくご利用いただける店舗にしました。



貸出金の状況

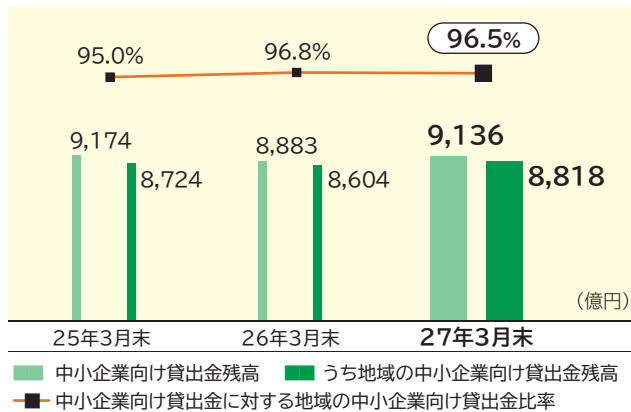
■ 地域向け貸出金の状況

地域向け貸出金は、2兆6,346億円と総貸出金の82.4%を占めています。



■ 中小企業向け貸出金の状況

地域の中小企業向け貸出金は、8,818億円と中小企業向け貸出金の96.5%を占めています。



■ 中小企業向け貸出先数の状況

(先)

	25年3月末	26年3月末	27年3月末
中小企業向け貸出先数 ㊦	11,948	11,973	12,157
うち地域向け ㊧	11,884	11,915	12,101
比率 (㊧ / ㊦)	99.4%	99.5%	99.5%

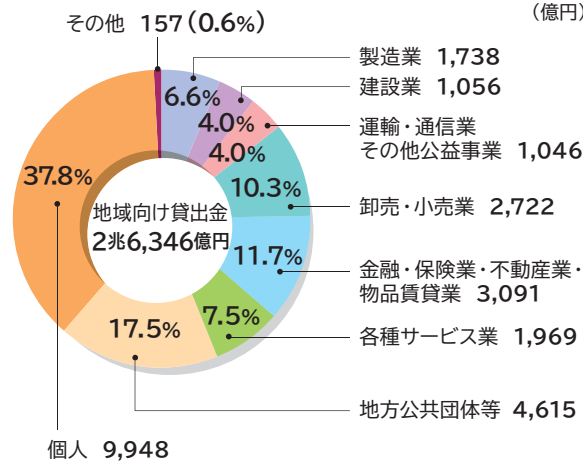
■ 決済サービスのご利用状況

(千先)

	25年3月末	26年3月末	27年3月末
年金振込先数	283	291	299
給与振込先数	536	539	539
公共料金振替先数	969	980	990

■ 地域の業種別貸出残高 (平成27年3月末)

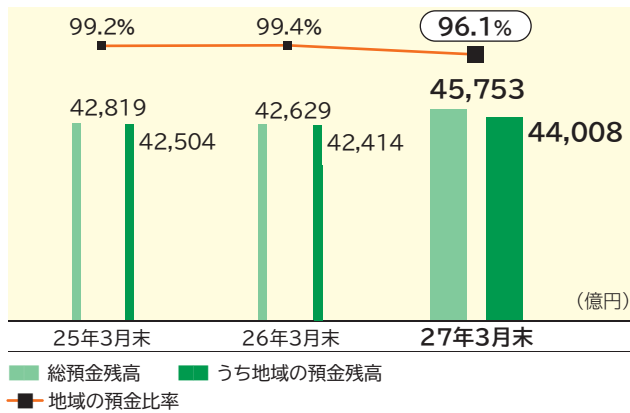
(億円)



預金の状況

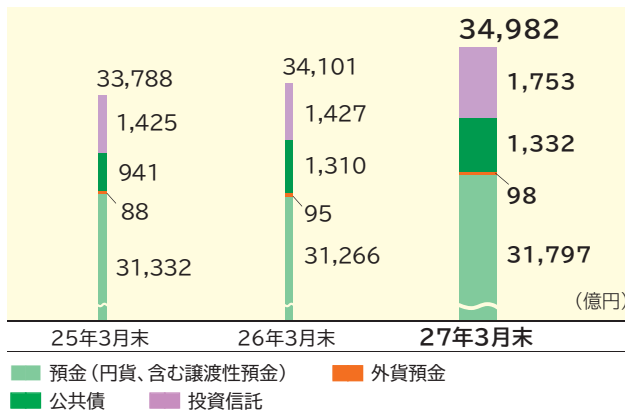
■ 地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

地域の預金は、4兆4,008億円と総預金の96.1%を占めています。



■ 個人預かり資産の状況

個人預かり資産残高は、3兆4,982億円となりました。このうち預金(円貨、含む譲渡性預金)を除いた投資型金融商品残高は、3,184億円となりました。



TOPICS トピックス

「道銀教育カードローン」の取り扱いを開始

27年3月から「道銀教育カードローン」の取り扱いを始めました。ご卒業までのあらゆる教育関連資金を対象としたカードローン型の教育ローンです。「必要なときに必要な分だけATMでお借入」が可能で、最大1,000万円まで繰り返しご利用いただけます。お申し込みは銀行窓口のほか、インターネットや郵送、FAXでも可能であり、ご契約までご来店することなくお手続きいただけます。



個人向けインターネットバンキングの機能拡張

26年11月に個人インターネットバンキングの機能拡張を実施しました。道内金融機関初となる住宅ローンの一部繰上返済・金利再選択のネット受付を可能としたほか、スマートフォン専用画面での投資信託購入などの機能を追加しました。また、スマートフォンにおける操作性改善のため、より見やすいデザインへ変更しました。



お取引先の成長を支援する取り組み

販路拡大支援

●「北海道・東北・北陸ビジネスマッチング in 東京
～6次産業化商談会～」を開催(北陸銀行、北海道銀行)

北陸銀行、北海道銀行および「東北・北海道地区交流促進地銀連携」を締結する東北10行がお取引先の販路拡大のため首都圏を中心としたバイヤーとの商談会を開催しました。個別商談、展示商談のほかに商品の付加価値を高めるため、6次産業化を支援するための相談会も実施し、新たな商品開発に向けた意見交換が行われました。



出展企業数 …… 36社
バイヤー数 …… 17社
商談件数 …… 100件

●「北海道の『食』特別商談会 in 小樽・後志」を開催
(北陸銀行、北海道銀行)

ほくほくフィナンシャルグループ10周年を記念し、北陸銀行と北海道銀行の合同で商談会を開催しました。両行のネットワークを活用して招聘した多様なバイヤーを相手に自社商品をアピールしていただきました。また、バイヤーに生産・製造現場を知っていただくための見学ツアーも実施しました。



出展企業数 …… 19社
バイヤー数 …… 7社
商談件数 …… 74件

●「ビジネスマッチング商談会 for ASIA」を開催
(北陸銀行、北海道銀行)

従来、商談会で海外バイヤーと合意しても、出展企業が輸出業務に不慣れなことから最終的な成約に至らない事例が少なくありませんでした。そこで今回の商談会では輸出経験のない企業の成約率を高めるため、海外に販路を有する国内商社を中心にバイヤーを招き、商談成約後は国内取引で海外へ輸出できるようにしました。



出展企業数 …… 21社
バイヤー数 …… 13社
商談件数 …… 94件

●株式会社イトーヨーカ堂「北陸フェア」への出展を支援
(北陸銀行)

27年1月、地域企業の販路拡大および北陸・首都圏の橋渡しのため、株式会社イトーヨーカ堂「北陸フェア」への出展を希望するお取引先を対象とした個別商談会を開催しました。当日は36社が参加し、新幹線開業を前に関心が高まる北陸の特産品を紹介しました。その中から10社が、3月に全国約150店舗で開催



された「北陸フェア」に出展しました。

海外進出支援

●海外駐在員事務所長帰国報告会(北陸銀行、北海道銀行)

北陸銀行ニューヨーク駐在員事務所長と北海道銀行ウラジオストク駐在員事務所長が札幌で合同報告会を開催しました。報告会では、収集した現地の最新情報や経済動向をお取引先にお伝えしました。今後も海外拠点を相互活用することで、お取引先へのサービス向上に努めていきます。

参加企業数 51社80名



●中国信託ホールディングと業務提携(北陸銀行)

台湾の大手金融グループの中国信託ホールディングと業務提携を結びました。台湾へ進出中あるいは進出を検討中のお取引先に対し、台湾経済・投資環境などの情報提供や同グループ傘下の中国信託商業銀行を通じた金融サポートが可能となりました。



●「道銀ロシアビジネス交流会 in 札幌」を開催(北海道銀行)

道内企業の極東ロシアにおける貿易拡大を目的に、ユジノサハリンスクとウラジオストクからロシア企業を招き交流会を開催しました。交流会では、ロシア企業のプレゼンテーションと個別商談会を行いました。また、道内企業の見学も行い、相互に理解を深めていただくことができました。



道内企業数 49社
ロシア企業数 8社
商談件数 55件

人財育成

●「目利きコンテスト」、「道銀ビジネスアカデミー」の実施(北陸銀行、北海道銀行)

よりニーズに沿った提案や経営改善のアドバイスを行えるように北陸銀行、北海道銀行ではさまざまな研修を行っています。

北陸銀行ではお取引先の全体をより深く捉えられるよう「目利きコンテスト」を実施しています。よく分析できている事例については余暇セミナーで発表し、ノウハウを共有しています。

北海道銀行では一人ひとりのスキルアップがお取引先への貢献度アップとなるよう業務別の短期集中型の研修「道銀ビジネスアカデミー」を実施しています。



目利きコンテスト



道銀ビジネスアカデミー

地域活性化に関する取り組み

●北陸新幹線開業を地域活性化に(北陸銀行)

27年3月の北陸新幹線開業を地域活性化に繋げるため、首都圏の店舗および長野支店では、北陸三県の各自治体のPRチャンネルとしてポスター掲載や富山県や金沢市が制作した観光DVDの放映などを行いました。

また、富山県との「連携と協力に関する包括協定」に基づき、富山駅前支店に「北陸新幹線開業カウントダウン電光ボード」を設置し、新幹線の開業機運を盛り上げました。



●金沢大学・富山大学・富山県立大学の学生を中国・大連へ派遣(北陸銀行)

27年3月、「包括的連携協力協定に関する覚書」に基づき、金沢大学と富山大学の学生各10名、富山県立大学の学生2名を研修のため中国・大連へ派遣しました。

本研修では、中国事情の理解とともに、グローバル社会で活躍できる国際感覚を身につけた人材育成を目的に、現地へ進出している北陸の企業への訪問や北陸銀行大連駐在員事務所長による講演などが行われました。また、同世代である現地の大学生との意見交換会では活発な議論が行われました。



●「市町村公共施設マネジメントセミナー」を開催(北海道銀行)

国が市町村に要請している公共施設等総合管理計画の策定に向けた具体的な検討方法や策定手法についてのセミナーを道内4会場で開催しました。公共施設の老朽化対策は人口減少社会を見据えたまちづくりにおいて不可避な課題であり、地元金融機関として自治体との連携を強化し、地域活性化に取り組んでいきます。

参加自治体 88市町村



●株式会社リクルート北海道じやらんと道南の魅力を発信(北海道銀行)

平成28年春の北海道新幹線開業に向けて、地元北海道経済の活性化に貢献するため、連携協力協定を結んでいる株式会社リクルート北海道じやらんと連携し「北海道じやらん」2015年2月号より「函館&道南魅力発信隊」と題した特集記事を連載しています。

また、27年4月には東北・首都圏から道南への誘客促進のため、同社が製作するフリーペーパー「函館・道南で春と桜を楽しむ本」を連携して発行し、東北・北海道地区交流促進地銀連携を締結した東北10行の店頭でも読んでもいただけるようにしました。



CSR



金融教育

●銀行体験を実施(北陸銀行、北海道銀行)

北陸銀行東大通支店が中学生を受け入れ、窓口・融資・外国為替などの業務を体験していただきました。また、お取引先の工場や日本銀行金沢支店も見学させていただきました。



北海道銀行では冬休みを利用して小学生を対象に「親子で銀行体験」を9カ店で開催しました。金庫室の見学やお札の数え方などを学び、銀行を知っていただきました。



環境保全

●一斉おもてなし清掃(北陸銀行)

27年3月の北陸新幹線開業を前に、地域の皆さまとともに「おもてなし」を実践するため、富山県・石川県・長野県の支店を中心に「一斉おもてなし清掃」を実施しました。



芸術文化・スポーツ振興

●親子のフットサル教室(北海道銀行)

小学生までの児童を対象にフットサル教室を開催しました。北海道銀行がオフィシャルパートナーを務めているエスポラーダ北海道とタイアップして企画したもので、ドリブル・パス・シュートなどの基礎練習や親子対抗ゲームなどを参加者の方にお楽しみいただきました。



●北海道銀行フォルティウスの支援(北海道銀行)

北海道銀行がメインスポンサーを務める女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」が日本カーリング選手権大会で初優勝し、札幌で開催された世界女子カーリング選手権大会では日本代表として出場しました。



●美術館ギャラリー・ミレー(北陸銀行)

北陸銀行所蔵の絵画を展示している「ギャラリー・ミレー」は26年9月に2周年を迎え、10月には来館者が3万人を突破しました。企画展の開催などを多くのお客さまに楽しんでいただいています。



貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
流動資産	8,356	流動負債	251
現金及び預金	274	預り金	4
有価証券	6,500	未払費用	138
前払費用	1	未払配当金	78
未収収益	134	未払法人税等	10
未収還付法人税等	1,441	その他	20
その他	4	固定負債	43,083
固定資産	271,082	社債	43,000
有形固定資産	0	役員退職慰労引当金	83
器具及び備品	0		
投資その他の資産	271,082	負債の部合計	43,335
関係会社株式	227,870	純資産の部	
関係会社長期貸付金	43,000	資本金	70,895
その他	212	資本剰余金	137,096
		資本準備金	82,034
		その他資本剰余金	55,061
		利益剰余金	29,325
		その他利益剰余金	29,325
		繰越利益剰余金	29,325
		自己株式	△ 1,479
		株主資本合計	235,836
		新株予約権	266
		純資産の部合計	236,103
資産の部合計	279,439	負債及び純資産の部合計	279,439

損益計算書 (平成26年4月1日~平成27年3月31日) (単位:百万円)

営業収益	7,637
関係会社受取配当金	7,062
関係会社受入手数料	575
営業費用	517
販売費及び一般管理費	517
営業利益	7,119
営業外収益	448
関係会社貸付金利息	434
その他の営業外収益	14
営業外費用	504
社債利息	434
事務委託費	69
経常利益	7,064
税引前当期純利益	7,064
法人税、住民税及び事業税	3
法人税等合計	3
当期純利益	7,061

株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式			株主資本 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	70,895	82,034	55,057	137,092	29,234	29,234	△1,494	235,727	191	235,918
当期変動額										
剰余金の配当					△6,970	△6,970		△6,970		△6,970
当期純利益					7,061	7,061		7,061		7,061
自己株式の取得							△17	△17		△17
自己株式の処分			3	3			32	36		36
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									75	75
当期変動額合計	-	-	3	3	90	90	14	109	75	184
当期末残高	70,895	82,034	55,061	137,096	29,325	29,325	△1,479	235,836	266	236,103

連結貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	1,210,607	預金	10,140,400
コールローン及び買入手形	94,599	譲渡性預金	487,347
買入金銭債権	72,524	コールマネー及び売渡手形	58,454
特定取引資産	4,508	債券貸借取引受入担保金	27,809
金銭の信託	7,947	特定取引負債	1,184
有価証券	2,493,601	借入金	125,680
貸出金	7,546,819	外国為替	179
外国為替	14,533	社債	43,000
その他資産	91,952	その他負債	126,322
有形固定資産	101,878	退職給付に係る負債	8,930
無形固定資産	28,076	役員退職慰労引当金	277
退職給付に係る資産	2,069	偶発損失引当金	1,970
繰延税金資産	462	睡眠預金払戻損失引当金	1,366
支払承諾見返	68,711	繰延税金負債	12,313
貸倒引当金	△ 55,290	再評価に係る繰延税金負債	6,064
		支払承諾	68,711
		負債の部合計	11,110,014
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	148,197
		利益剰余金	242,701
		自己株式	△ 1,514
		株主資本合計	460,279
		その他有価証券評価差額金	101,033
		繰延ヘッジ損益	△ 845
		土地再評価差額金	8,502
		退職給付に係る調整累計額	2,473
		その他の包括利益累計額合計	111,164
		新株予約権	266
		少数株主持分	1,276
		純資産の部合計	572,987
資産の部合計	11,683,001	負債及び純資産の部合計	11,683,001

連結損益計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位:百万円)

経常収益	193,936
資金運用収益	128,468
(うち貸出金利息)	(101,873)
(うち有価証券利息配当金)	(24,322)
役員取引等収益	39,505
特定取引収益	388
その他業務収益	17,273
その他経常収益	8,300
経常費用	145,796
資金調達費用	7,164
(うち預金利息)	(3,807)
役員取引等費用	14,392
その他業務費用	9,203
営業経費	106,048
その他経常費用	8,987
経常利益	48,140
特別利益	122
特別損失	1,355
税金等調整前当期純利益	46,906
法人税、住民税及び事業税	9,360
法人税等調整額	9,231
法人税等合計	18,592
少数株主損益調整前当期純利益	28,314
少数株主利益	79
当期純利益	28,235

連結株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	70,895	148,193	222,995	△ 1,529	440,554	61,301	△ 194	8,182	△ 6,077	63,211	191	1,168	505,125
会計方針の変更による累積的影響額			△ 1,864		△ 1,864								△ 1,864
会計方針の変更を反映した当期首残高	70,895	148,193	221,130	△ 1,529	438,690	61,301	△ 194	8,182	△ 6,077	63,211	191	1,168	503,261
当期変動額													
剰余金の配当			△ 6,970		△ 6,970								△ 6,970
当期純利益			28,235		28,235								28,235
自己株式の取得				△ 17	△ 17								△ 17
自己株式の処分		3		32	36								36
土地再評価差額金の取崩			305		305								305
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						39,731	△ 650	320	8,551	47,952	75	108	48,136
当期変動額合計	-	3	21,571	14	21,589	39,731	△ 650	320	8,551	47,952	75	108	69,725
当期末残高	70,895	148,197	242,701	△ 1,514	460,279	101,033	△ 845	8,502	2,473	111,164	266	1,276	572,987

貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	790,579	預金	5,846,837
コールローン	84,599	譲渡性預金	229,205
買入金銭債権	72,522	コールマネー	58,454
特定取引資産	2,475	債券貸借取引受入担保金	27,809
有価証券	1,275,498	特定取引負債	1,184
貸出金	4,365,302	借用金	114,185
外国為替	9,133	外国為替	111
その他資産	16,373	その他負債	52,981
有形固定資産	78,109	退職給付引当金	1,616
無形固定資産	4,340	役員退職慰労引当金	57
前払年金費用	1,316	偶発損失引当金	1,344
支払承諾見返	35,080	睡眠預金払戻損失引当金	909
貸倒引当金	△ 22,622	繰延税金負債	11,000
		再評価に係る繰延税金負債	6,064
		支払承諾	35,080
		負債の部合計	6,386,844
		純資産の部	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	89,459
		利益準備金	9,523
		その他利益剰余金	79,936
		繰越利益剰余金	79,936
		株主資本合計	244,868
		その他有価証券評価差額金	73,340
		繰延ヘッジ損益	△ 845
		土地再評価差額金	8,502
		評価・換算差額等合計	80,997
		純資産の部合計	325,865
資産の部合計	6,712,709	負債及び純資産の部合計	6,712,709

損益計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位:百万円)

経常収益	94,047
資金運用収益	68,702
(うち貸出金利息)	(54,490)
(うち有価証券利息配当金)	(12,327)
役員取引等収益	17,695
特定取引収益	230
その他業務収益	5,209
その他経常収益	2,210
経常費用	69,521
資金調達費用	4,634
(うち預金利息)	(2,256)
役員取引等費用	7,124
営業経費	55,251
その他経常費用	2,511
経常利益	24,526
特別利益	25
特別損失	1,126
税引前当期純利益	23,425
法人税、住民税及び事業税	1,747
法人税等調整額	6,997
法人税等合計	8,745
当期純利益	14,680

株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						株主資本 合計	評価・換算差額等				純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		その他 有価証券 評価差額金		繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金						利益剰余金 合計	
当期首残高	140,409	14,998	14,998	8,706	71,671	80,377	235,786	46,576	△ 194	8,182	54,563	290,349
会計方針の変更による累積的影響額					△ 1,818	△ 1,818	△ 1,818					△ 1,818
会計方針の変更を反映した当期首残高	140,409	14,998	14,998	8,706	69,852	78,559	233,967	46,576	△ 194	8,182	54,563	288,531
当期変動額												
剰余金の配当				817	△ 4,902	△ 4,085	△ 4,085					△ 4,085
当期純利益					14,680	14,680	14,680					14,680
土地再評価差額金の取崩					305	305	305					305
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								26,763	△ 650	320	26,433	26,433
当期変動額合計	-	-	-	817	10,083	10,900	10,900	26,763	△ 650	320	26,433	37,334
当期末残高	140,409	14,998	14,998	9,523	79,936	89,459	244,868	73,340	△ 845	8,502	80,997	325,865

貸借対照表 (平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

資産の部		負債の部	
現金預け金	418,619	預金	4,303,272
コールローン	10,000	譲渡性預金	272,042
商品有価証券	2,032	借入金	52,884
金銭の信託	7,947	外国為替	67
有価証券	1,205,913	その他負債	45,512
貸出金	3,196,487	退職給付引当金	9,810
外国為替	5,400	役員退職慰労引当金	108
その他資産	33,537	偶発損失引当金	626
有形固定資産	28,948	睡眠預金戻戻損失引当金	457
無形固定資産	3,696	支払承諾	24,611
繰延税金資産	2,214	負債の部合計	4,709,393
支払承諾見返	24,611	純資産の部	
貸倒引当金	△ 23,557	資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	64,613
		利益準備金	7,005
		その他利益剰余金	57,608
		繰越利益剰余金	57,608
		株主資本合計	174,932
		その他有価証券評価差額金	31,525
		評価・換算差額等合計	31,525
		純資産の部合計	206,457
資産の部合計	4,915,851	負債及び純資産の部合計	4,915,851

損益計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日) (単位:百万円)

経常収益	85,410
資金運用収益	60,608
(うち貸出金利息)	(47,408)
(うち有価証券利息配当金)	(12,811)
役員取引等収益	17,622
その他業務収益	1,016
その他経常収益	6,162
経常費用	62,796
資金調達費用	2,508
(うち預金利息)	(1,555)
役員取引等費用	8,259
その他業務費用	257
営業経費	44,746
その他経常費用	7,023
経常利益	22,613
特別利益	98
特別損失	181
税引前当期純利益	22,530
法人税、住民税及び事業税	6,748
法人税等調整額	2,209
法人税等合計	8,957
当期純利益	13,573

株主資本等変動計算書 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本						株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金繰越利益剰余金				利益剰余金合計	
当期首残高	93,524	16,795	16,795	6,410	47,650	54,060	164,379	18,714	18,714	183,094
会計方針の変更による累積的影響額					△ 46	△ 46	△ 46			△ 46
会計方針の変更を反映した当期首残高	93,524	16,795	16,795	6,410	47,604	54,014	164,333	18,714	18,714	183,047
当期変動額										
剰余金の配当				594	△ 3,568	△ 2,974	△ 2,974			△ 2,974
当期純利益					13,573	13,573	13,573			13,573
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								12,811	12,811	12,811
当期変動額合計	-	-	-	594	10,004	10,598	10,598	12,811	12,811	23,410
当期末残高	93,524	16,795	16,795	7,005	57,608	64,613	174,932	31,525	31,525	206,457

決算期	毎年3月31日	
定時株主総会の基準日	毎年3月31日	
定時株主総会	毎年6月	
剰余金の配当の基準日	3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日	
1単元の株式数	1,000株	
証券コード	8377	
上場証券取引所(普通株式)	東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所	
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.hokuhoku-fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
株式 事務 取扱 場所	株主名簿管理人・ 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・ 郵便物の送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

みずほ
フリーダイヤル **0120-288-324**
受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■ 株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

① 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、 配当金振込先の指定、 単元未満株式の買取・買増請求等	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に記録されている株式 … 口座を開設されている証券会社 特別口座に記録されている株式 … みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券 の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

② 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
------------	-------------------------------

配当金のお受け取りについて

◎配当金の口座振込等(銀行振込や登録配当金受領口座方式、株式数比例配分方式)を指定されていない方は、同封の「配当金領収証」により、払渡しの期間内にお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

◎配当金のお受け取り忘れはございませんか？

- 当社の定款により、支払開始の日から起算して満5年を経過すると配当金のお受け取りができなくなります。
- 過去の配当金について未だお受け取りいただけていない配当金がありましたら、上記のみずほ信託銀行(フリーダイヤル)へお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。
- 配当金を確実にお受け取りいただくために、口座振込等での受け取りをお勧めいたします。

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄 社会的使命を實踐し、地域社会とお客さまとともに発展します。

公正堅実 公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。

進取創造 創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

ホームページのご案内

ほくほくフィナンシャルグループ

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

ほくほくフィナンシャルグループの概要、経営戦略、財務データ、IR情報など最新の情報から過去のデータまでご覧いただけます。



北陸銀行

<http://www.hokugin.co.jp/>

取扱商品・サービスやキャンペーン情報、各種手続き等さまざまな情報を詳細かつタイムリーに掲載しています。また北陸銀行の概要、歴史、地域との関わり等もご覧いただけます。



北海道銀行

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

各種商品・サービス、セミナーのご案内、トピックスなどをタイムリーに掲載しています。また、定期預金、各種ローンの簡単なシミュレーションもご利用いただけます。



コーポレートマーク

垂直に伸びるゴールドのグラデーションは企業の成長性と収益性を表し、緩やかな弧を描くラインは広域地銀としてのネットワークを表現しています。また、落ち着いたブルーの正方形は、組織の揺るぎない安定性をイメージしており、その正方形の中に垂直のラインとカーブのラインを配置することによって、「ほくほく」の頭文字である「h」を表現しています。



金融ADR制度への取り組み

当社グループの北陸銀行、北海道銀行では、お客さまからのご意見・苦情等につきまして、迅速かつ適切な対応を行うべく、指定紛争解決機関である全国銀行協会と契約を締結しています。

指定紛争解決機関は、中立・公正な立場で、解決のための取り組みを行います。

北陸銀行・北海道銀行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先：全国銀行協会相談室

電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2015
Mini Disclosure

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7331

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

株式会社 北陸銀行

総合企画部広報CSR室

〒930-8637

富山市堤町通り 1丁目2番26号

Tel:076-423-7111

<http://www.hokugin.co.jp/>

株式会社 北海道銀行

経営企画部広報CSR室

〒060-8676

札幌市中央区大通西4丁目1番地

Tel:011-233-1005

<http://www.hokkaidobank.co.jp/>

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブリンキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。